

内閣府特命担当大臣
あかま 二郎 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(令和8年7月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	福	田	俊	史
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	渡	辺	穰	爾
鳥	取	県	町	村	白	石	祐	治
鳥	取	県	町	村	山	本	芳	昭
			議	会				
			議	長				
			会	長				

第 11 回防災推進国民大会鳥取大会への支援等について

《提案・要望の内容》

- 過去最大規模の大会となる第 11 回防災推進国民大会鳥取大会（ぼうさいこくたい 2026 in 鳥取）について、開催の成果を最大限に発揮するため、大会周知・広報及び必要な支援を行うこと。
- 大会開催を契機とした地域の自助・共助・公助の動きを踏まえ、地域が実情に応じて主体的に行う活動等に対して、柔軟に支援策を講じること。

<参考>

【大会を契機とした地域の活動支援例】

○個別避難計画づくりの加速

民生委員やケアマネージャー、市町村社協への掛かり増し支援について、国としては普通交付税措置をしているところ。個別避難計画作成が進むよう、こうした措置の周知や福祉関係者への研修などを行われたい。[内閣府防災担当]

○防災教育・若者参画の推進

ぼうさいこくたいを契機に、鳥取県では、災害を伝承するポータルサイトの充実、学校での防災活動・防災教育への関心の高まり、大学生サークル等による防災ゲーム・普及活動などを進めていくこととしているが、国においても、防災教育・若者参画への支援を図られたい。[内閣府防災関係]

○消防団協力事業所に対する実質的な支援

消防団協力事業所への支援を図られたい。[消防庁関係]

○感震ブレイカーに係る普及広報

感震ブレイカーの普及広報に向けて支援を図られたい。[消防庁関係]

【大会準備状況】

○大会（国主催）出展者（応募数）：550 超の申込みとなり、過去最大。

○併催（県主催）エリア出展者：150 超の団体・企業が出展予定。

・食パラダイス鳥取エリア：鳥取の魅力溢れる食や防災食など

・防災訓練・体験エリア：日本赤十字社や NHK、若者企画、防災スポーツ体験など

・防災産業展示エリア：県内を中心とした企業の技術や製品、大型車両等を展示

○出展者数のみならず、来場者についても過去最大規模となるよう大会主催者として幅広い大会周知・広報をお願いしたい。

○県内外から多数の来場が想定されることから、交通対策には県のみならず大会主催である国による十分な対策・準備も重要。